



Linking your dreams
リンテック株式会社

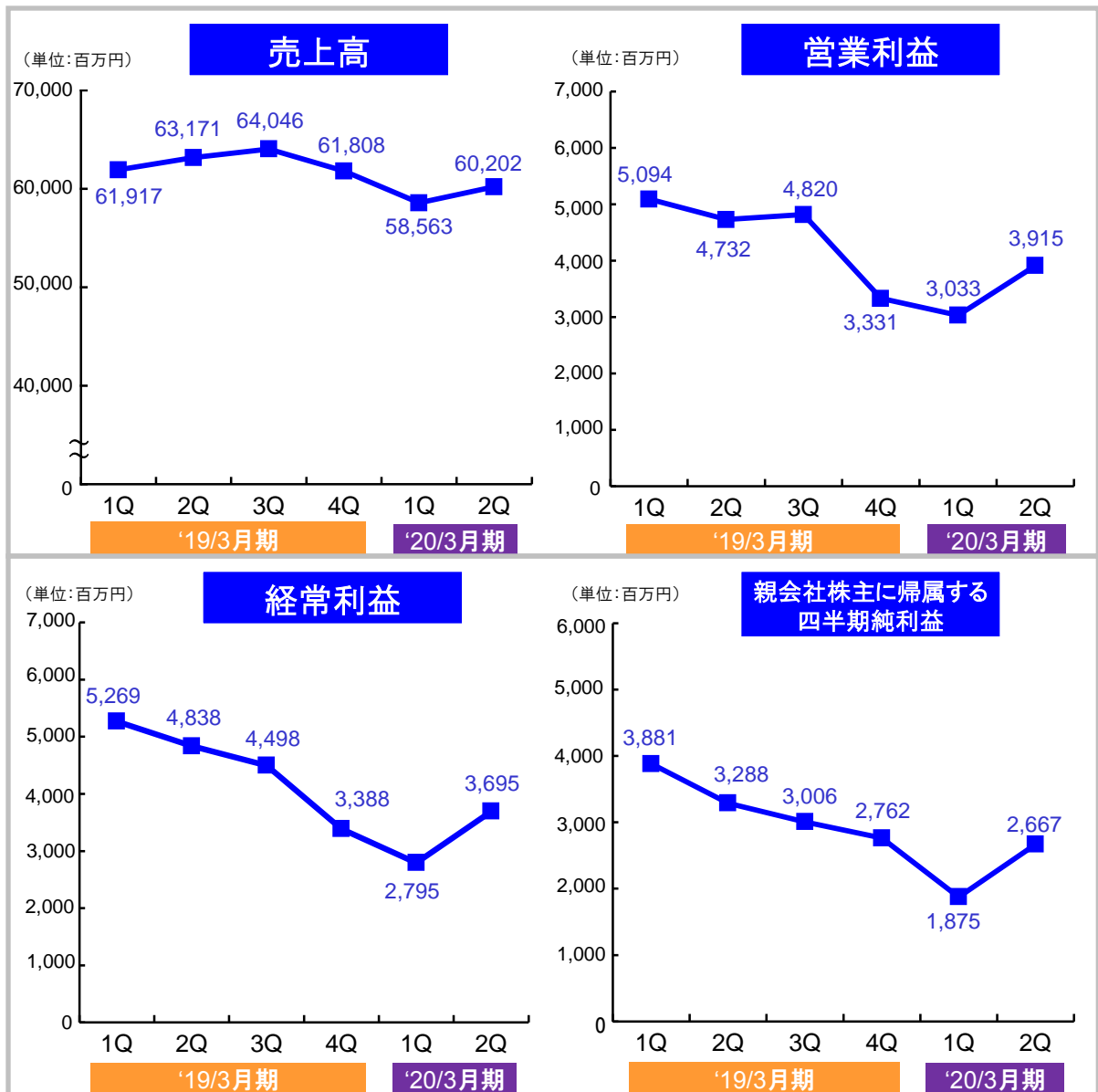
2020年3月期第2四半期 決算説明会資料



2019年11月14日
リンテック株式会社

2020年3月期第2四半期 連結業績の概要①

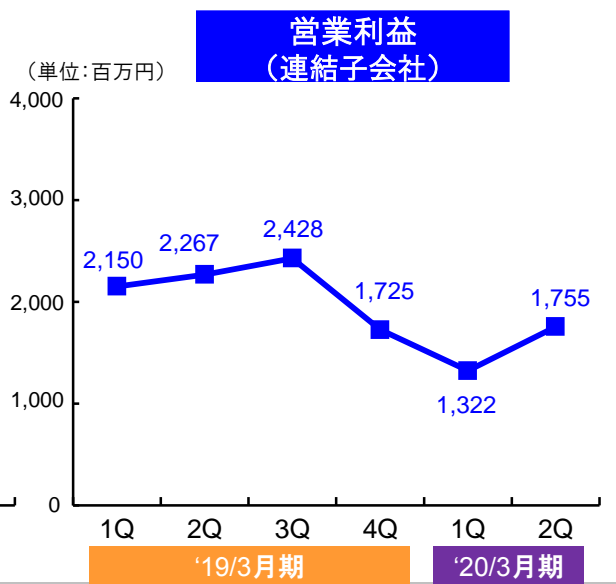
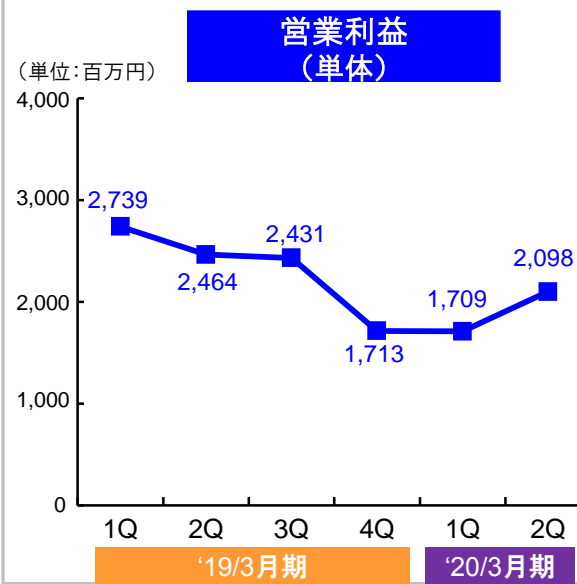
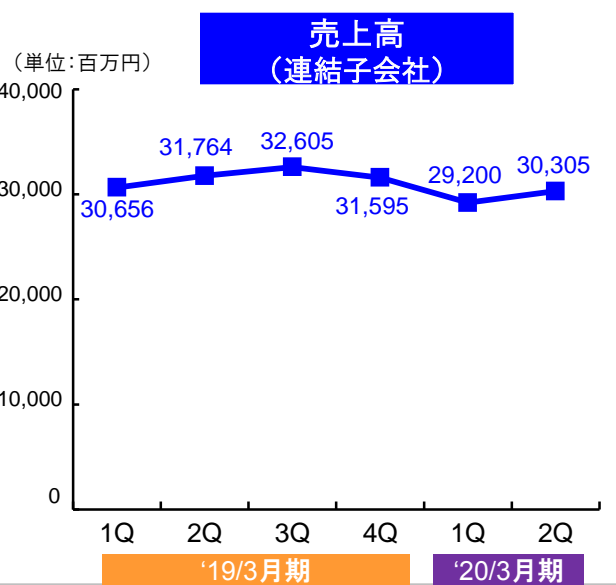
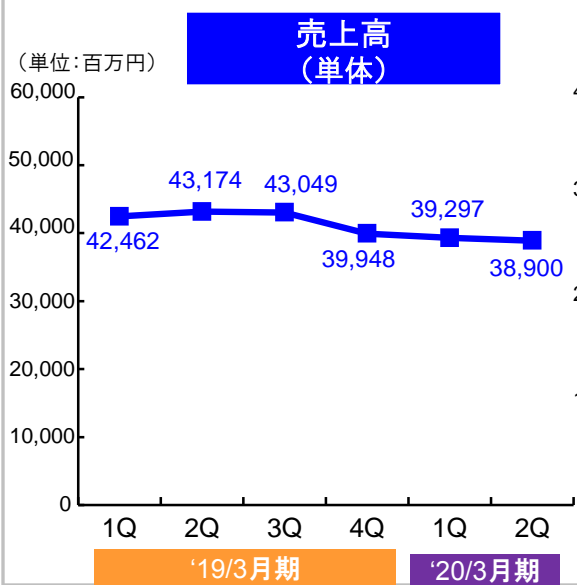
	'19/3月期 第2四半期 累計	'20/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
売上高	125,088	118,765	▲6,323 (▲5.1%)
営業利益	9,826	6,948	▲2,877 (▲29.3%)
経常利益	10,107	6,490	▲3,616 (▲35.8%)
親会社 株主に 帰属する 四半期 純利益	7,169	4,542	▲2,626 (▲36.6%)



2020年3月期第2四半期 連結業績の概要②

	'19/3月期 第2四半期 累計	'20/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
単体	85,636	78,197	▲7,439 (▲8.7%)
連結子会社	62,420	59,505	▲2,915 (▲4.7%)
消去	▲22,968	▲18,937	4,031
計	125,088	118,765	▲6,323 (▲5.1%)

	'19/3月期 第2四半期 累計	'20/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
単体	5,203	3,807	▲1,396 (▲26.8%)
連結子会社	4,417	3,077	▲1,340 (▲30.3%)
消去	206	64	▲142
計	9,826	6,948	▲2,877 (▲29.3%)



➤ 売上高

● 単体

印刷・情報材事業部門、洋紙事業部門は僅かに前年同期を上回る
その他の事業部門は低調

● 連結子会社

マディコ、リンテック코리아は好調
アドバンストマテリアルズ事業部門の販売子会社を中心に総じて低調

➤ 営業利益

● 単体

(主な増益要因)

原燃料価格の下落 約 2 億円

(主な減益要因)

販売数量の減少など 約 1 9 億円

● 連結子会社

マディコ、リンテック코리아は増収効果により増益となるが、その他の連結子会社は販売数量の減少などにより総じて減益

【期中平均為替レート(実績)】

	('19/3 2Q)	→	('20/3 2Q)
円/US\$	108.50	→	109.97
円/1-0	130.65	→	124.07
円/WON	0.1005	→	0.0962
円/中国元	17.01	→	16.23
円/台湾\$	3.66	→	3.55

2020年3月期第2四半期 印刷材・産業工材関連の概要①

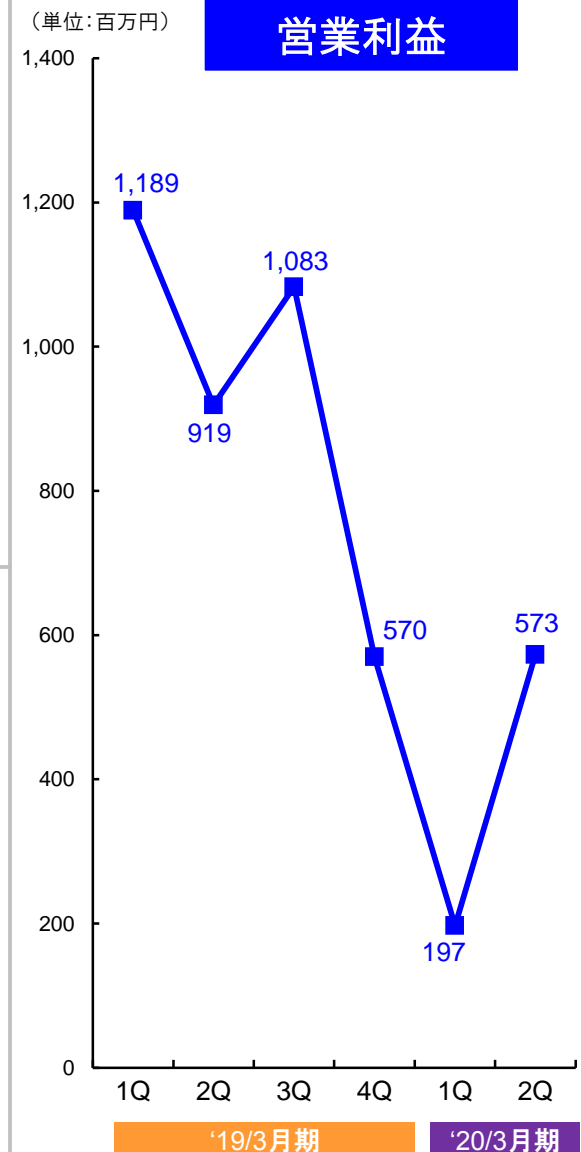
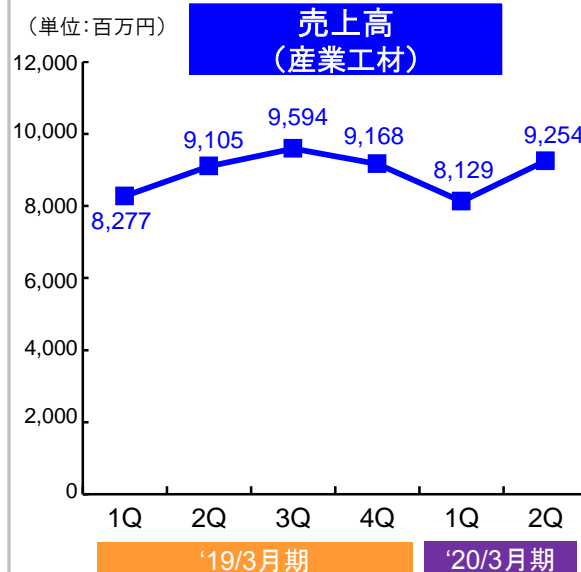
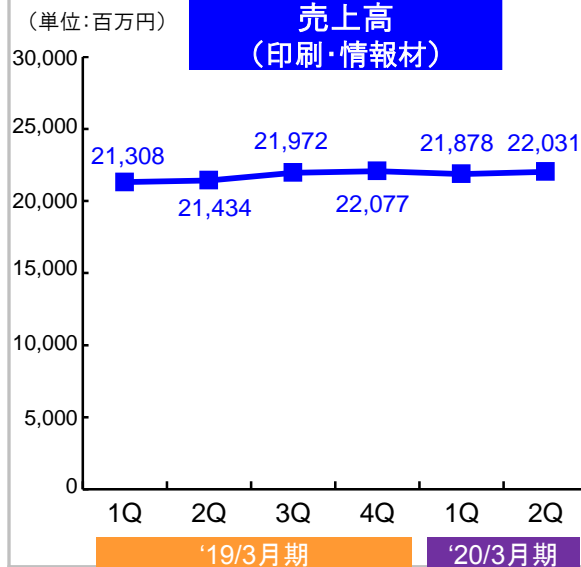
	'19/3月期 第2四半期 累計	'20/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	42,742	43,909	1,166 (2.7%)
産業工材 事業部門	17,382	17,383	0 (0.0%)
売上高 合計	60,124	61,292	1,167 (1.9%)

※2019年4月よりラベリングマシンの一部を産業工材事業部門から印刷・情報材事業部門へ移管しました。
2019年3月期の実績は組み替えて記載しております。

営業利益	2,108	770	▲1,337 (▲63.4%)
------	-------	-----	--------------------



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：宅配・通販関連が堅調

食品関連、飲料用キャンペーンラベル、化粧品などのアイキャッチラベルが低調

海外：中国で米中貿易摩擦の影響を受ける

アセアン地域が堅調

➤ 産業工材事業部門

ウインドーフィルムは国内外ともに堅調

二輪を含む自動車用粘着製品がインド市場低迷の影響を受け低調

2020年3月期第2四半期 電子・光学関連の概要①

'19/3月期 第2四半期 累計	'20/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

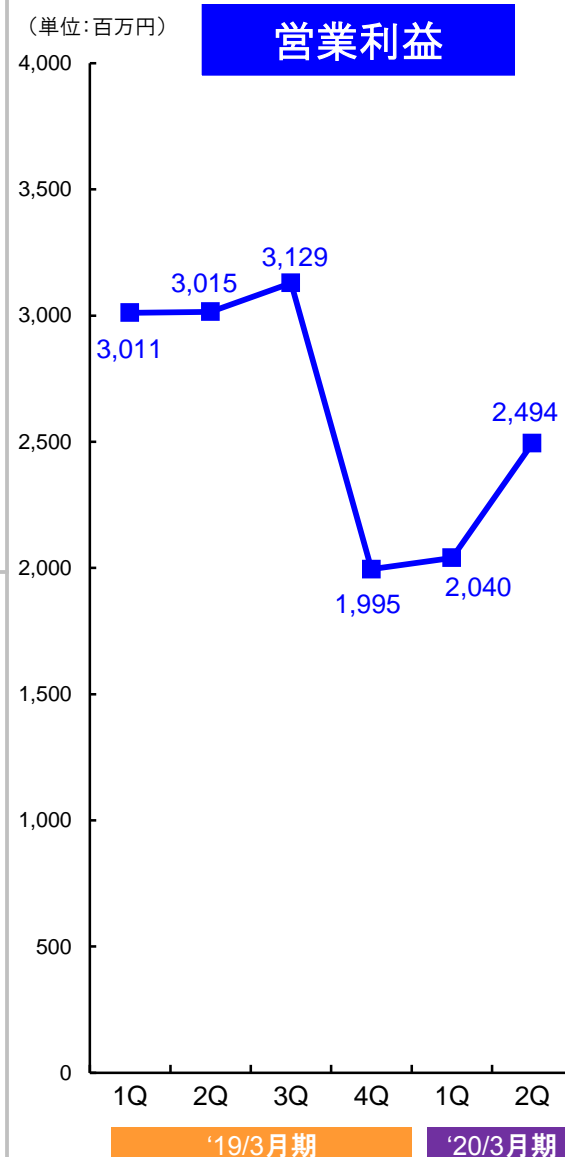
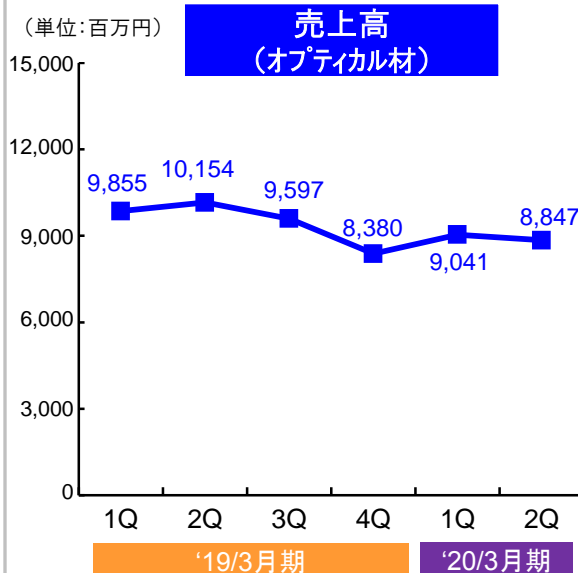
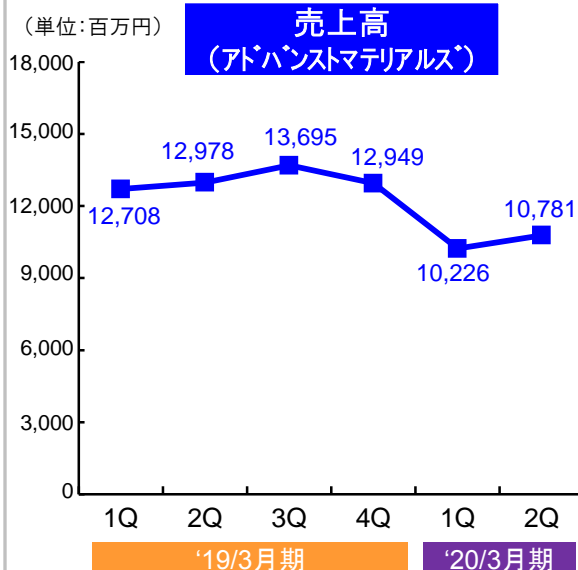
アドバンス マテリアルズ 事業部門	25,686	21,007	▲4,678 (▲18.2%)
-------------------------	--------	--------	--------------------

オプティカル材 事業部門	20,009	17,888	▲2,120 (▲10.6%)
-----------------	--------	--------	--------------------

売上高 合計	45,695	38,896	▲6,799 (▲14.9%)
-----------	--------	--------	--------------------

※2019年4月より光デバイス関連製品をアドバンスマテリアルズ事業部門からオプティカル材事業部門へ移管しました。
2019年3月期の実績は組み替えて記載しております。

営業利益	6,026	4,534	▲1,492 (▲24.8%)
------	-------	-------	--------------------



➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：市場低迷の影響を受け減少

半導体関連装置：設備投資抑制の影響を受け大幅な減少

積層セラミックコンデンサ関連テープ：自動車用、スマートフォン用ともに市場の生産調整の影響を受け大幅な減少

➤ オプティカル材事業部門

光学ディスプレイ関連粘着製品：大型テレビ用は堅調

スマートフォン用などの中小型向けが需要低迷の影響を受け低調

2020年3月期第2四半期 洋紙・加工材関連の概要①

	'19/3月期 第2四半期 累計	'20/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

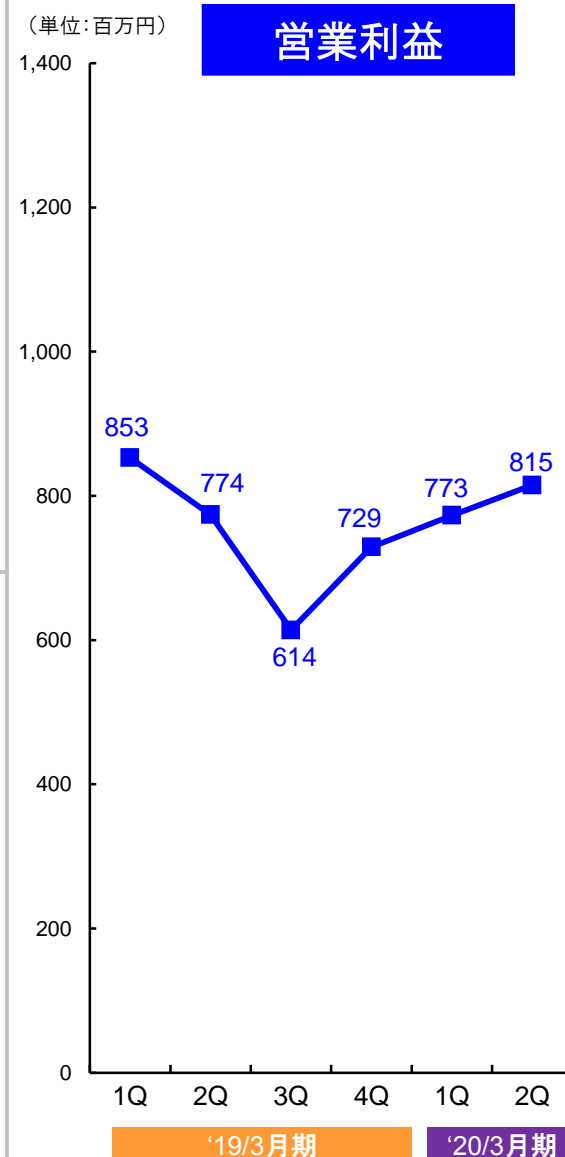
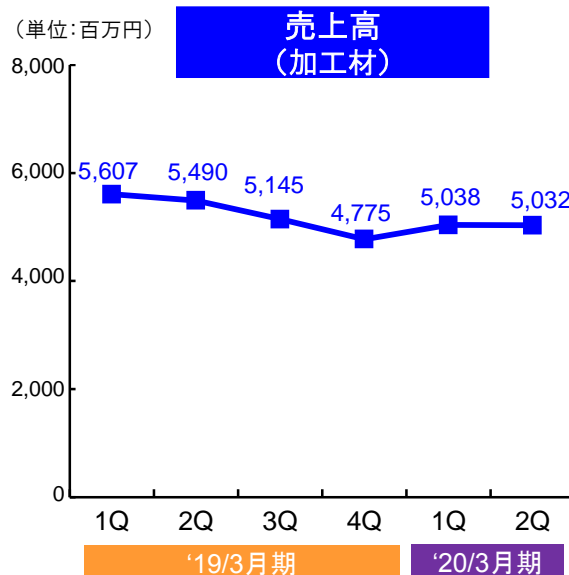
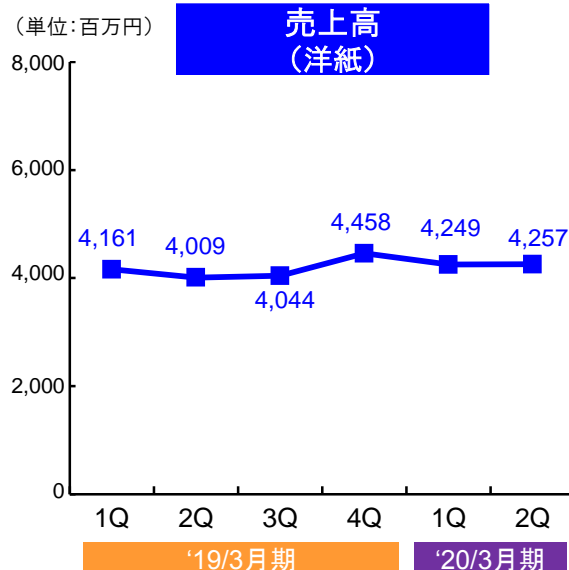
(単位:百万円)

洋紙 事業部門	8,170	8,506	335 (4.1%)
------------	-------	-------	---------------

加工材 事業部門	11,097	10,070	▲1,027 (▲9.3%)
-------------	--------	--------	-------------------

売上高 合計	19,268	18,576	▲691 (▲3.6%)
-----------	--------	--------	-----------------

営業利益	1,627	1,588	▲39 (▲2.4%)
------	-------	-------	----------------



➤ 洋紙事業部門

隠ぺい性を付与した封筒用紙が堅調
建材用紙、ファストフード向けの耐油耐水紙などが順調

➤ 加工材事業部門

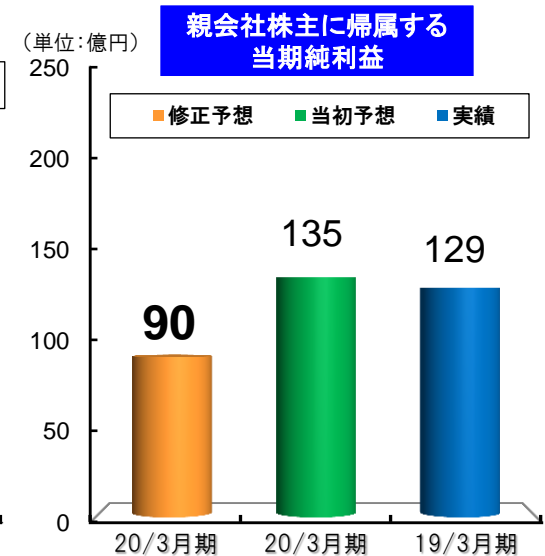
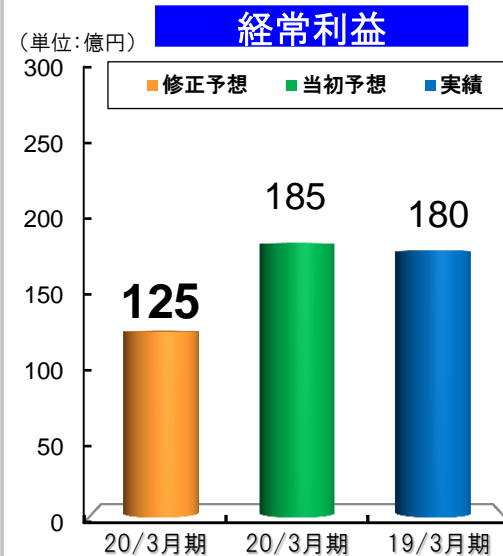
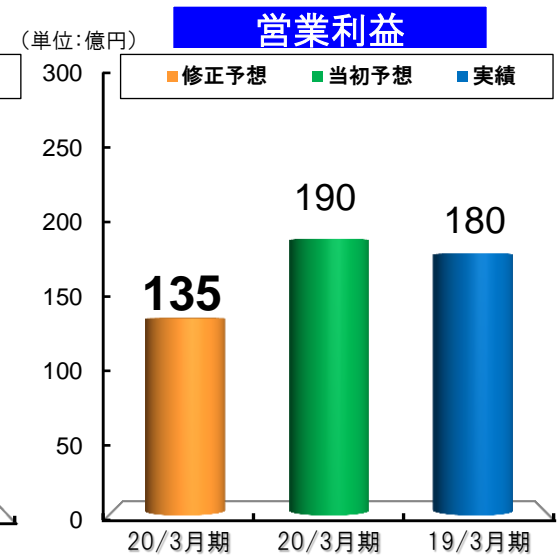
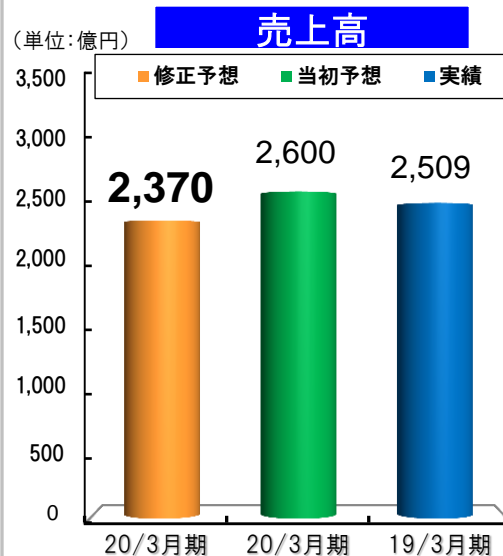
電子材料用剥離紙は堅調
一般粘着製品用剥離紙、光学関連製品用剥離フィルムが低調

2020年3月期通期 連結業績予想①

	'20/3月期 修正予想	'20/3月期 当初予想	差異	(参考) '19/3月期 実績
売上高	2,370	2,600	▲230	2,509
営業利益	135	190	▲55	180
経常利益	125	185	▲60	180
親会社株主に 帰属する 当期純利益	90	135	▲45	129

【通期想定為替レート】

	'20/3月期 修正	'20/3月期 当初	'19/3月期 実績
円/US\$	109.00	110.00	110.36
円/1-円	122.00	125.00	130.01
円/WON	0.0940	0.1000	0.1004
円/中国元	15.70	16.50	16.64
円/台湾\$	3.50	3.60	3.66

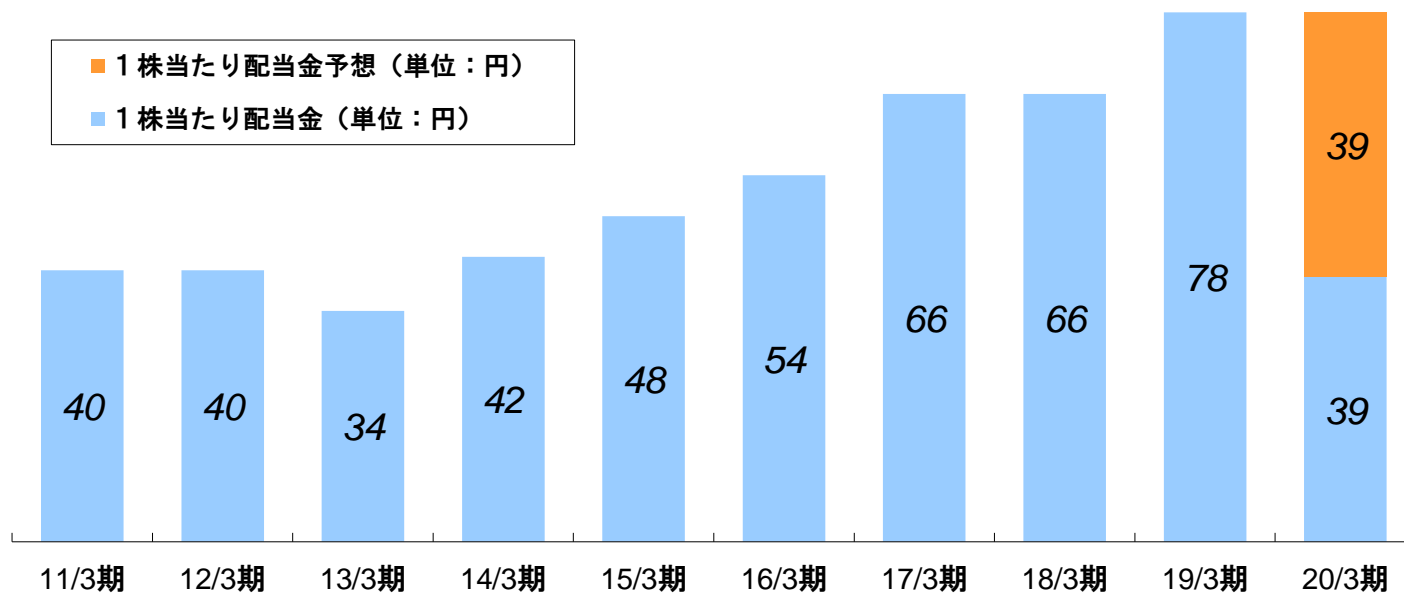


2020年3月期通期 連結業績予想②

(単位:億円)	'20/3月期 修正予想	'20/3月期 当初予想	差異	'19/3月期 実績	当初予想からの変動要因
売上高	2,370	2,600	▲230	2,509	
印刷材・産業工材関連	1,232	1,288	▲56	1,229	
印刷・情報材事業部門	879	919	▲40	868	単体で食品関連や飲料用キャンペーンラベルなどが低調、中国では米中貿易摩擦の影響を受けると見ており減額
産業工材事業部門	353	369	▲16	361	マディコは堅調。インド市場を中心に、二輪を含む自動車用粘着製品が当初予想を下回ると見ており減額
電子・光学関連	773	920	▲147	903	
アドバンス材料事業部門	443	528	▲85	523	半導体関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが当初予想を下回ると見ており減額
オプティカル材事業部門	330	392	▲62	380	下期に入り、大型テレビ用も需要低迷の影響を受けると見ており減額
洋紙・加工材関連	365	392	▲27	377	
洋紙事業部門	170	175	▲5	167	耐油耐水紙は堅調。封筒用紙の販売数量が当初予想を下回ると見ており減額
加工材事業部門	195	217	▲22	210	一般粘着製品用剥離紙、光学関連製品用剥離フィルムが需要低迷の影響を受けると見ており減額
営業利益	135	190	▲55	180	
印刷材・産業工材関連	16	46	▲30	38	マディコは堅調。国内外において販売数量の減少などの影響を受けると見ており減額
電子・光学関連	90	100	▲10	112	半導体関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープ、光学ディスプレイ関連粘着製品の販売数量減少により減額
洋紙・加工材関連	29	44	▲15	30	パルプ価格下落を見込んでいるものの、販売数量の減少をカバーするまでには至らないと見ており減額

(基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	136.2	86.4	76.8	85.0	116.6	109.0	114.5	112.6	129.4	90.0
1株当たり当期純利益(円)	180.21	115.26	102.83	114.22	161.63	151.07	158.69	156.02	179.24	124.59
連結配当性向(%)	22.2	34.7	33.1	36.8	29.7	35.7	41.6	42.3	43.5	62.6

ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。